

全国医工連携支援機関ネットワーク会議における今後の取組

第4回全国医工連携支援機関ネットワーク会議

2014年3月4日

株式会社三菱総合研究所

本日の内容

1. 平成25年度の実績報告

- ✓ 全国会議の開催(4回開催)
- ✓ 地域会議の開催(3回開催)
- ✓ 支援機関と支援メニュー一覧作成(MEDICでの情報提供)
- ✓ 医工連携による医療機器事業化ガイドブック作成
 - ・医工連携推進シンポジウムにて第1版発表
 - ・成果発表シンポジウムにて第2版発表
 - ・MEDICに掲載(随時ダウンロード可)
- ✓ 医工連携推進キーマンの紹介開始(今後拡充)

2. 次年度の活動予定(案)

- ✓ 開催スケジュール:全国会議／地域会議(予定)
- ✓ 医学系学会・業界団体等との連携促進
- ✓ テーマ別分科会の開催
- ✓ MEDICを中心とした情報発信の強化
- ✓ 支援機関ネットワーク会議を通じた具体的取組の実現

1. 平成25年度の実績報告

全国医工連携支援機関ネットワーク会議の目的

医療機器産業は、薬事法に係わる規制により製品の上市に時間を要すること、市場の細分化により投資回収リスクが高いこと、医療機関の特殊性により販路開拓・維持が一般的な機器と異なること等、新規参入を狙う中小企業が単独で取り組むには非常にハードルが高い「ハイリスク・ハイリターン」産業です。

この困難な状況を解決し、中小企業の新規参入を増やしていくためには、薬事戦略、知財戦略、技術評価、マーケティング、事業戦略等、医療機器開発の実情に精通した専門的な支援機関の存在が不可欠です。また、中小企業に寄り添いながら企業の特性を踏まえた課題解決機能を提供できる地域に密着した支援機関の関与も重要になります。

医療機器産業への参入を目指す中小企業は全国に存在するため、このような支援が全国で機能するような環境を整備することが重要です。そのためには、既存の支援機関の特徴を活かしつつ、多様な支援機関が相互に連携し合いながら、シームレスでタイムリーな支援を提供できる仕組みづくりが必要となります。

そこで、医工連携による医療機器実用化をより一層強力に促進するため、全国の医工連携による医療機器実用化を支援する機関のネットワーク形成を目指した会議を開催します。

1. 平成25年度の実績報告

全国会議の開催(4回開催)

- 専門支援機関とのネットワークづくり、地域間の医工連携関係者同士のネットワークづくりを目的として全国会議を実施しました。

会議名	開催日時
第1回: キックオフ&支援機関ネットワーク形成の事例 ・全国の支援機関によるネットワーク形成に対する期待(経済産業省) ・支援機関ネットワーク形成の事例(青森、九州、浜松、川崎、PMDA) ・総括及び今後に向けた提言(全国イノベーション推進機関ネットワーク)	2013年5月29日(水) 14:00~17:00 (情報交換会17:00~18:30) 参加団体数:約110団体 参加者数:約160名
第2回: 薬事、マッチング、医工連携の事例 ・薬事戦略相談の現状(PMDA) ・マッチングサイトの運営(日本医療器材工業会) ・医工連携による医療機器開発の事例(岡山大学、延岡市、ファルマバレー)	2013年8月6日(火) 14:30~17:30 (情報交換会17:30~18:30) 参加団体数:約70団体 参加者数:約120名
第3回: 医療機器開発における専門支援機関の取組 ・独立行政法人産業技術総合研究所 ・特定非営利活動法人医工連携推進機構 ・公益財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所 ・一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ	2013年10月8日(火) 10:00~12:00 参加団体数:約80団体 参加者数:約100名
第4回: 民間支援機関との連携(本日) ・産学連携による医療機器の事業化支援(株式会社ジャフコ) ・医療機器開発における薬事支援(シミック株式) ・医療機器プラットフォーム事業(大阪商工会議所) ・医療機器分野における情報発信(日経デジタルヘルス)	2014年3月4日(火) 10:00~12:00 参加団体数:約80団体 参加者数:約100名

1. 平成25年度の実績報告

地域会議の開催①: 開催趣旨

- 医療産業分野は、日本再興戦略における「戦略市場創造プラン」のなかでも「国民の健康寿命の延伸」として位置づけられており、全国各地域で医療、看護、介護福祉機器開発に取り組まれています。
- 一方で、地域の中小企業が参入するためには、克服すべき様々な課題が存在します。また、**地域が直面する課題は、他の地域でも経験したケースが多く存在します。**このことから、他地域の先進事例や経験から学ぶことは、医療機器開発促進に大きな効果が見込めるものです。
- 本事業は、全国各地域においてこれまで取り組んできた医療機器開発に関する事業のうち、**成果を挙げている優れた事例を共有することにより、地域における取組を促進する**ことを目的に実施します。

【参加対象者】

- 医療機器開発に積極的に取り組んでいる産業支援機関、自治体、大学、金融機関等のコーディネーター、支援担当者及び医療機関の関係者、並びに、医療機器専門商社、メーカー、もの作り企業経営者など

1. 平成25年度の実績報告

地域会議の開催②：中国地域医療機器関連産業支援フォーラムinとっとり

日時等	プログラム内容
2013年10月9日	参加者数：100名（地域支援機関、ものづくり企業、金融機関、大学、官公庁）
13:00-15:45 第一部 講演会	<p>講演①：「産学連携・医工連携におけるトランスレーショナルリサーチの要件 ～上市を加速する方法」 九州大学先端医療イノベーションセンター 教授 大平 猛</p> <p>講演②：「既成概念を破る新たな製品の創造を目指して」 鳥取大学次世代高度医療推進センター 特命准教授 植木 賢</p> <p>事例報告①：「薬事戦略相談の現状と薬事法の初歩」 (独)PMDA 薬事戦略相談室テクニカルエキスパート 石川 廣</p> <p>事例報告②：「東九州におけるメディカル産業と地域振興」 経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 係長 小野 敬通</p> <p>事例報告③：「ものづくり中小企業の医療機器への参入体験」 (株)ニッコーテック 代表取締役 野口 享志</p> <p>施策紹介：経済産業省 中国経済産業局、(公財)鳥取県産業振興機構</p>
16:00-17:30 第二部 グループワーク	<p>Aグループ：「低侵襲先端医療分野の開発要件レクチャー・シーズ提供」</p> <p>Bグループ：「内視鏡処置具、レーザーをつかった胃がん切除法の開発、粘膜把持用糸付きクリップ、肝細胞がんに対する経血管的温熱療法」</p>

1. 平成25年度の実績報告

地域会議の開催③：東北地域医療機器関連産業支援フォーラムinあおもり

日時等	プログラム内容
2013年11月27日	参加者数：129名（地域支援機関、官公庁、業界団体、民間企業、大学）
14:00-17:40 第一部 講演会	<p>基調講演：「医療機器の製品化への課題とその解決のための取り組みについて」 国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター長、 大阪大学 医学部 教授 妙中 義之 氏</p> <p>事例紹介①：「異業種から医療機器分野へ新規参入の取り組み事例と課題」 株式会社スズキプレシオン 代表取締役会長 鈴木 庸介 氏</p> <p>事例紹介②：「ベンチャー企業の医療機器開発にかける熱い思い」 株式会社シンテック 代表取締役 赤津 和三 氏</p> <p>事例紹介③：「医療機関とものづくり企業の連携実績と今後の課題」 八戸市立市民病院 臨床工学科 技士長、青森県臨床工学技士会 理事 野沢 義則 氏</p>
16:15-17:40 第二部 グループワーク	<p>Aグループ「わが社が医療機器・サービス産業に参入するための取り組みと課題」</p> <p>Bグループ「支援機関は、医療現場の課題や医療ニーズ・シーズをどのようにしてくみとり、マッチングにつなげればよいか」</p>

1. 平成25年度の実績報告

地域会議の開催④：九州地域医療機器関連産業支援フォーラムinふくおか

日時等	プログラム内容
2013年12月6日	参加者数：90名（民間企業、地域支援機関、官公庁、大学等）
14:00-17:40 第一部 講演会	<p>基調講演：「産学官連携で医療機器開発を成功させるために」 九州大学先端医療イノベーションセンター 教授 大平 猛 氏</p> <p>講演：「東北地域医療機器産業支援について」 日本医療機器工業会 副理事長 植竹 強 氏</p> <p>事例紹介①：「コト・デザインを意識したベッドサイド医療機器開発組織とプロセスの紹介」 独立行政法人産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門 アクセシブルデザイン研究グループ 主任研究員 佐藤 洋 氏</p> <p>事例紹介②：「ヘルスケアサービス事業としてのアンチエイジング医学教室」 有限会社True Balance つみのり内科クリニック 院長 山下 積徳 氏</p> <p>施策紹介：経済産業省 九州経済産業局</p>
16:15-17:40 第二部 グループワーク	<p>Aグループ「わが社が医療機器・サービス産業に参入するための取り組みと課題」</p> <p>Bグループ「支援機関は、医療・介護現場の課題や医療・介護ニーズ・シーズをどのようにしてくみとり、マッチングにつなげればよいか」</p>

1. 平成25年度の実績報告

支援機関と支援メニュー一覧作成(MEDICでの情報提供)①

MEDIC 医工連携による医療機器の事業化ポータルサイト
(経済産業省委託 課題解決型医療機器等開発事業)

文字サイズ 小 中 大

医療機器産業の現状 | **医療機器開発への支援** | 医療機器アイデアボックス | 課題解決型医療機器等開発事業 | 当サイトについて

トップ > 医療機器開発への支援 > 支援ネットワーク

支援機関と支援メニュー

医工連携推進キーマンの紹介

掲載希望の問い合わせ窓口掲載

当サイトに掲載を希望される支援機関の方は[こちら](#)からお問い合わせください。

専門支援機関

【薬事】独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (薬事戦略相談)

日本発の革新的医薬品・医療機器の創出に向けて、シーズ発見後の大学・研究機関、ベンチャー企業を主な対象とし、医薬品・医療機器候補選定の最終段階から臨床開発初期に至るまでに必要な試験・治験計画策定等に関する相談への指導・助言を行っています。

【薬事】国立医薬品食品衛生研究所 (医療機器部)

医療機器、歯科材料、細胞組織医療機器 およびそれらの材料について、有効性・安全性・品質確保に関する研究を行っています。また、長期間体内に留置する医療機器や手術支援システムのような新しい医療機器の解析・評価技術に関する研究も行っています。

支援ネットワーク ▶

支援機関と支援メニュー ▶

医工連携推進キーマンの紹介 ▶

1. 平成25年度の実績報告

支援機関と支援メニュー一覧作成(MEDICでの情報提供)②



MEDIC ポータルサイト:

<http://www.med-device.jp/>

・本事業に関連するイベント、支援機関等から提供される情報をメールでご紹介。

・トップページからメールマガジンの登録が可能

① 重要なお知らせ

- ▶ 2013年9月19日 「課題解決型医療機器等開発事業」実証事業関係者 情報交換会(10/7)参加者募集
課題解決型医療機器等開発事業 実証事業の関係者や、支援機関の関係者が集まり、事業化に向けた課題の共有や今後の展開に向けた人的ネットワーク作りを行います。
- ▶ 2013年9月13日 第3回全国医工連携支援機関ネットワーク会議(10/8)参加者募集
医工連携による医療機器実用化を支援する組織(支援機関)ご担当者等のご参加をお待ちしています。

MEDICメールニュース登録
MEDICの更新情報等をお知らせします。[こちらから登録ください](#)

登録内容の確認・変更
ログインして確認・変更が可能です

ログインID:

パスワード:

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

1. 平成25年度の実績報告

医工連携による医療機器事業化ガイドブック作成

経済産業省 課題解決型医療機器等開発事業の成果を踏まえて

医工連携による医療機器事業化ガイドブック (2013年10月版)

経済産業省 課題解決型医療機器等開発事業の成果を踏まえて

医工連携による医療機器事業化ガイドブック (2014年3月版)

※本ガイドブックは、課題解決型医療機器等開発事業の実施成果や、皆様からのご意見・ご要望・ご協力を反映して常に進化しています。最新版は、医工連携による医療機器事業化ポータルサイト (MEDIC: <http://www.med-device.jp/>) にて入手可能です。

MEDIC 医工連携による医療機器の事業化ポータルサイト
(経済産業省委託 課題解決型医療機器等開発事業)

文字サイズ **小** **中** **大** Google®カスタム検索

医療機器産業の現状	医療機器開発への支援	医療機器アイデアボックス	課題解決型医療機器等開発事業	当サイトについて
トップ > 課題解決型医療機器等開発事業 > 事業の概要			事業の概要	
事業の概要			実証事業	
			イベント開催	
			看工連携	

事業の成果

これまでの本事業の成果は以下の資料にまとめられています。

- 産業戦略委員会報告書 (4.6MB)
- 医工連携による医療機器事業化ガイドブック (2013年10月版) (4.8MB)**
- 医工連携による医療機器事業化ガイドブック (2014年3月版)

**ガイドブックの配布
MEDICへの掲載**

★是非、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

連絡先: m-kiki-nw@mri.co.jp

1. 平成25年度の実績報告

医工連携推進キーマンの紹介開始(今後拡充)

MEDIC 医工連携による医療機器の事業化ポータルサイト
(経済産業省委託 課題解決型医療機器等開発事業)

文字サイズ 小 中 大

医療機器産業の現状 | **医療機器開発への支援** | 医療機器アイデアボックス | 課題解決型医療機器等開発事業 | 当サイトについて

トップ > 医療機器開発への支援 > 医工連携推進キーマンの紹介

支援ネットワーク
 支援機関と支援メニュー
医工連携推進キーマンの紹介

わが国で医工連携を推進するキーマンを紹介します。
 今後、定期的に紹介記事を掲載していきます。

-  [優れた技術を持つものづくり企業との連携によって、世界市場に通用する医療機器を](#)
 植竹 強氏 (一般社団法人 日本医療機器工業会 副理事長)
 2014/01/20掲載
-  [県域を越えた、新たな挑戦へ](#)
 佐藤 欣司氏 (延岡市 延岡市工業振興課 メディカルタウン推進室長補佐)
 2014/01/20掲載

※掲載者の所属等は掲載時のものを記載

支援ネットワーク ▶
 支援機関と支援メニュー ▶
医工連携推進キーマンの紹介 ▶

→掲載を推奨される方がいましたら、事務局
 (m-kiki-nw@mri.co.jp)までご連絡下さい。
 (自薦・他薦問わず)

[このページの先頭へ戻る](#) 

2. 平成26年度の活動予定(案)

開催スケジュール: 全国会議／地域会議(予定)

- 基本的に他イベントと合わせて開催し、学会や業界団体との連携を促進するとともに、参加し易さにも配慮して実施いたします。

学会・業界団体等のイベント	支援機関ネットワーク会議スケジュール
<u>MEDTEC 2014Japan</u> 連携目的: 事業成果の発表と26年度活動方針の報告 日時場所: 2014年4月9日～11日東京ビッグサイト東	<u>広く支援機関の方々への情報発信を行う場</u> 2014年4月10日13:30～16:00 ・セミナー開催: 事業成果発表と26年度活動予定報告
<u>日本医療機器学会大会 & メディカルショー・ビジネスエキスポ</u> 連携目的: オールジャパンでの医工連携を目指して ー学会・医療現場・ものづくり・販売の連携 日時場所: 2014年6月12日～14日新潟朱鷺メッセ	<u>第1回全国支援機関ネットワーク会議</u> 2014年6月12日～13日(予定) ・薬事法改正セミナー(12日) ・多様なステークホルダーとのディスカッション(13日)
<u>HOSPEX Japan2014</u> 特別企画: <u>医療・福祉機器開発展 新設</u> 連携目的: ニーズ・シーズ発表の場 日時場所: 2014年11月12日～14日東京ビッグサイト東	<u>第2回全国支援機関ネットワーク会議</u> 2014年11月13日(予定) ・シンポジウム(各地のマッチング事例報告) ・テーマ別分科会(ユーザー評価、クラス形成など)
<u>平成26年度医工連携事業化推進事業成果報告シンポジウム</u> 連携目的: 医工連携事業化推進事業の成果報告 日時場所: 2015年3月上旬 東京	<u>第3回全国支援機関ネットワーク会議</u> 3015年3月上旬 成果報告シンポジウムの前後 ・支援機関ネットワーク活用の事例報告
<u>各地の地域イベントとの組み合わせ</u>	<u>地域会議の開催(2回程度): 地域ネットワークの活性化</u> 日程候補: 9月、10月、1月、2月 場所候補: 2か所程度での開催を検討中

2. 平成26年度の活動予定(案)

MEDICを中心とした情報発信の強化

平成25年度は、「事業の紹介」「新規参入者向け」コンテンツを中心に整備したが、平成26年度は、「支援機関向けコンテンツ」を中心に拡充する。

- ◆ネットワーク拡大に向けて
 - ⇒ キーマン紹介コーナーの拡充
 - ⇒ 支援機関掲載数の拡大

- ◆コンテンツの活用促進に向けて
 - ⇒ 検索機能の追加
 - ⇒ イベント等のタイムリーな紹介
 - ⇒ 関連予算情報等の掲載

- ◆総合問い合わせ窓口の設置
 - ⇒ 研修・セミナー開催にあたっての講師手配支援
 - ⇒ ユーザー評価実施に向けたコーディネート 等

2. 平成26年度の活動予定(案)

支援機関ネットワーク会議を通じた具体的取組の実現

- ◆ 専門支援機関と地域支援機関との縦連携の促進
 - ⇒ 業界団体と地域支援機関との連携(本事業以外でもすでに実施事例あり)
 - ⇒ コーディネーター育成のための講師派遣(今年度試行)
 - ⇒ 専門支援機関からのコーディネーター派遣(平成26年度試行予定)

- ◆ 地域支援機関同士の横連携の促進
 - ⇒ 県単位から地域単位での協働(本事業以外でもすでに実施事例あり)
 - ⇒ 地域を超えた全国レベルでの協力 など

- ◆ 民間支援機関も巻き込んだ連携
 - ⇒ すでにある事例の活用・普及(大阪商工会議所等)
 - ⇒ 多様な機関の支援メニュー一覧・企業側が選びやすい仕組み など

支援機関の皆様と協力しながら、具体的な取り組みをどんどん形にしていくお手伝いができればと思います。